1991. 湾岸戦争　1993. 東京サミット、皇太子殿下成婚　1994. 関西国際空港開港　1995. 阪神淡路大震災　1996. 在ペルー日本大使公邸占拠事件　1998. 北朝鮮発射ミサイル日本上空通過　1999. NATO 軍セルビア空爆　2000. 沖縄サミット　2001. 米国同時多発テロ、アフガン紛争　2002. サッカー日韓W杯　2003. イラク戦争

1992 | 1993 | 1994 | 1995 | 1996 | 1997 | 1998 | 1999 | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004

★国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律制定
（1992.6.15成立、6.19公布、8.10施行）

アンゴラ (1992.9－1992.10)
カンボジア (1992.9－1993.9)
モザンビーク (1993.5－1995.1)
ルワンダ (1994.9－1994.12)
エルサルバドル (1994.3－1994.4)
ゴラン高原 (1996.1－2013.2)
★人道救援物資備蓄制度発足
★国際平和協力法改正
ボスニア・ヘルツェゴビナ (1998.8－1998.9)
東ティモール避難民救援 (1999.11－2000.2)
東ティモール (1999.7－1999.9)
ボスニア・ヘルツェゴビナ (2000.3－2000.4)
東ティモール (2001.8－2001.9)
★国際平和協力法改正
アフガニスタン難民救援 (2001.10)
コソボ (2001.11)
東ティモール (2002.2 － 2004.6)
東ティモール選挙監視 (2002.4)
イラク難民救援 (2003.3－2003.4)
イラク被災民救援 (2003.7－2003.8)

【国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律】

1992～

我が国は、国際平和のために、より積極的な役割を果たしていくことが必要と考え、平成４年６月「国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律」を制定し、以来、国際連合を中心とした国際平和のための努力に対して、数々の人的、物的協力を実施してきています。

【カンボジア 国際平和協力業務】

施設部隊等　1992.9～1993.9

我が国は長期間に亘り、戦乱と国内混乱が続いていたカンボジアに対して、自衛隊、文民警察要員や選挙監視要員を派遣しました。自衛隊の施設部隊は道路や橋等の修理等を実施しました。

【ルワンダ難民救援 国際平和協力業務】

難民救援隊等　1994.9～1994.12

ルワンダ共和国における内戦により周辺国へ流出した大量の難民を支援するため、我が国はザイール（当時）等に自衛隊を派遣し、医療、防疫、給水、空輸等の活動を行いました。困難な状況の中、1日平均30名以上、延べ約 2100 名の診察を行うとともに、約 70 件の手術を行いました。

【ルワンダ難民救援 国際平和協力業務】

連絡調整要員　1994.9～1994.12

総理府（当時）、外務省、防衛庁（当時）の職員で編成・派遣された連絡調整要員は、派遣部隊の活動を舞台裏で支えるべく、国連諸機関との連絡・調整を実施しました。

【人道救援物資備蓄制度】

物資協力　1997～

人道的な国際救援活動等における物資のニーズに、より迅速・的確に対応するため、難民等が生活する上で必要なテント、毛布、スリーピングマット、給水容器、ビニールシートをアラブ首長国連邦の倉庫に備蓄しています。

【東ティモール 国際平和協力業務】

施設部隊　2002.3～2004.6

我が国は、21 世紀最初の独立国である東ティモールを支援するべく自衛隊、文民警察、選挙監視要員を派遣しました。派遣された施設部隊は道路・橋等の維持補修のほか、給水所の維持管理、民生支援等の後方支援業務を行いました。

【アフガニスタン難民救援 国際平和協力業務】

難民救援空輸隊　2001.10

国連高等弁務官事務所の要請を受け、パキスタンへの難民救援のため、航空自衛隊空輸隊が輸送機６機を駆使してテントや毛布、スリーピングマット等の物資を空輸しました。

【ゴラン高原 国際平和協力業務】

派遣輸送隊　1996.2～2013.1

我が国は後方支援大隊の一員として、UNDOF の活動に必要な後方支援を担当し、食料品等の日常生活物資等の港や空港等からの輸送、UNDOF の補給品倉庫における物資の保管等の業務を実施しました。

※27件の国際平和協力業務に対し、延べ約12,000人を派遣。この他に、物資協力実施回数28回（2017年6月時点）

■ は、国連平和維持活動（国連PKO）。　■ は、人道的な国際救援活動。　■ は、国際的な選挙監視活動。

2005. 京都議定書発効　2006. 北朝鮮による初の核実験　2007　2008. 洞爺湖サミット、リーマン・ショック　2009　2010　2011. 東日本大震災　2012. 東京スカイツリー開業　2013.「国家安全保障戦略」閣議決定　2014　2015. 平和安全法制成立　2016. 伊勢志摩サミット　2017

2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017

ゴラン高原 (1996.1－2013.2)
★国際平和協力員制度発足
東ティモール (2007.1－2008.2)
東ティモール選挙監視 (2007.3－2007.7)
ネパール (2007.3－2011.1)
コンゴ民主共和国 (2006.7－2006.11)
ネパール選挙監視 (2008.3－2008.4)
スーダン (2008.10－2011.9)
スーダン住民投票監視 (2010.12－2011.1)
ハイチ (2010.2－2013.2)
東ティモール (2010.9－2012.9)
南スーダン (2011.11－)
★国際平和協力法改正

【国際平和協力員制度】

2005～

国際平和協力員制度は、国際平和協力分野の人材育成と国際平和協力本部事務局の機能強化を目的に、平成１７年度に発足しました。研究員は任期中、研究活動に従事する他、海外のPKOセンター等で講義を行っています。任期後も国連を始め、国際平和協力分野で幅広い活躍をしています。

【イベントへの参加】

随時

国際平和協力本部事務局は、子ども霞が関見学デーやグローバルフェスタ等、様々なイベントに出展し、事務局の活動を紹介しています。詳細は事務局 HP をご覧ください。

【スーダン 国際平和協力業務】

司令部要員　2008.10～2011.9

我が国は南北間の内戦の和平合意の履行支援や難民及び国内避難民の帰還・促進調整等を任務とする、国際連合スーダン・ミッションに対して、司令部要員を派遣し、兵站全般の需要に関する部内調整の業務や、データベースの保守管理に関する業務を行いました。

【スーダン住民投票監視 国際平和協力業務】

住民投票監視要員　2010.12～2011.1

我が国は、有識者、民間人や国家公務員からなる 15 名の住民投票監視団を派遣し、南部スーダンの独立の是非を問う住民投票のため、投票の準備状況や自由で公正な投票の実施、開票結果の正当性等の監視を行いました。

【メダル・パレード】

我が国から派遣した各種部隊は、国連からメダルを授与されています。なお、このメダルは国連 PKO ミッションに貢献したと認められた人に授与されるものです。

【南スーダン 国際平和協力業務】

施設部隊等　2011.11～

我が国は、独立間もない南スーダンの国造りを支援するため、施設部隊等を派遣し、道路補修、国内避難民向けの施設整備、用地造成等を実施しました。写真は新年にあたり、任務完遂を祈念する年始行事の様子です。

【出国行事 帰国行事】

部隊を国際平和協力業務に従事させるため、外国に派遣する際には、国内において、出国行事が実施され、隊員を激励します。同様に帰国時には、帰国行事が実施され、隊員の労をねぎらいます。

【三角パートナーシップへの協力】

国連・アフリカ施設部隊早期展開プロジェクト等　2015～

近年の国連 PKO では、要員の能力不足が深刻な問題となっており、対処策の１つとして、国連は施設部隊を派遣する意思を表明したアフリカ諸国の要員に対する能力構築支援を実施しています。我が国は資金提供や、自衛官教官等の派遣により、本プロジェクトを支援しています。